

看護研究交流センター

The Center for Nursing Education, Research and Collaboration

看護研究交流センターは本学と社会をつなぐ窓口で、大分県の看護学の拠点となることをめざし、平成16年に設置されました。その活動は教育、研究、社会貢献、産官学協働など多岐にわたり、6チームで活動を進めています。

○看護研究交流センター教職員○

兼任のセンター長・副センター長のほか、専任の教員と事務員

○チーム構成○

地域交流 チーム

予防的家庭訪問実習の実習運営および、そのための地域との連携、県や市町村の委託事業、国保連合会や協会けんぽとの連携などを通して、調査研究、DVDの作成、研修や講演の開催等を行い、積極的に地域交流・地域貢献を進めています。

継続教育推進 チーム

大分県の看護の質向上に向け、県内施設や県看護協会が開催する研修に教員を講師として派遣しています。希望する施設には看護研究支援教員を派遣しています。同窓会と連携し、ホームカミングデイをはじめとした様々な機会を設け、卒業生・修了生の交流、継続的研修を行っています。

産学官連携推進 チーム

産学官連携による開発研究、地域連携及びベンチャー精神に富んだ人材育成などを推進します。

NP教育・事業推進 チーム

平成22年度に初の大学院修士課程NPコース修了生を送り出し、現在、多くの修了生が日本全国で活躍しています。診療看護師(NP)の活躍を支え、その活動がいっそう広がるように、日本NP教育大学院協議会や日本NP学会を通じた活動を行い、幅広く支援しています。平成26年度には「特定行為に係る看護師の研修制度」が新たに創設され、本学は平成27年10月に研修機関(大阪以西で唯一)の指定を受けました。

学術ジャーナル チーム

「看護科学研究」は当大学の看護研究交流センターが発行している学術雑誌です。平成11年に創刊された、看護系では国内最初の電子ジャーナルです。本学組織に所属しない独立した「看護科学研究」編集委員会により運営されており、査読には看護学、保健学やそれらに関連する領域の様々な専門家が携わっています。学術ジャーナルチームは、「看護科学研究」の編集作業および事務業務を担っています。本誌への投稿および審査・掲載・講読は全くの無料で、講読手続きも一切不要です。誰でもEメールで投稿して審査を受けることができ、掲載論文はインターネットでダウンロードして読めます。J-STAGEや医学中央雑誌、メディカルオンラインにも登録されており、多くの方に活用していただいています。
ジャーナルのサイト☞<https://jjnhs.com>

健康増進 プロジェクトチーム

健康増進プロジェクトチームは、病院・地元企業・自治体等と連携した看護・医療機器の開発や調査研究を行っています。また、介護予防運動の研究開発と普及、それに伴う運動指導員や体力チェックサポーター、スポーツ救護ナース等の人材育成、学生との「出前健康・体力チェック！」による県民の健康意識の高揚等の活動等を行なっています。



公立大学法人 大分県立看護科学大学

Oita University of Nursing and Health Sciences